

第12節 人と自然との触れ合いの活動の場

都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺には主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在し、道路の存在により活動内容への影響が考えられるため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査、予測及び評価を行った。

12.1 道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場

12.1.1 調査結果の概要

1) 調査した情報

(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

- ・主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用状況、利用環境の状況

- ・主要な触れ合いの活動の場の分布
- ・主要な触れ合いの活動の場の利用の状況
- ・主要な触れ合いの活動の場の利用環境の状況

2) 調査の手法

調査は、文献その他の資料等の収集、地元自治会長、専門家によるヒアリング及び現地調査により行った。

現地調査では、活動の場を取りまく自然資源等について、写真撮影により視覚的に把握した。また、施設の利用時間に応じて利用目的、利用人数について把握した。

3) 調査地域及び調査地点

調査地域は、都市計画対象道路事業実施区域のうち、直接改変が生じる箇所より500m程度の範囲とし、主要な人と自然との触れ合いの活動の場が分布する地域とした。

調査地点は、人と自然との触れ合いの活動の場に供せられる施設又は場が存在する地点や計画路線に近接し影響が大きいと想定される地点等、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性や快適性に及ぼす影響を把握するために適切な地点を設定した。

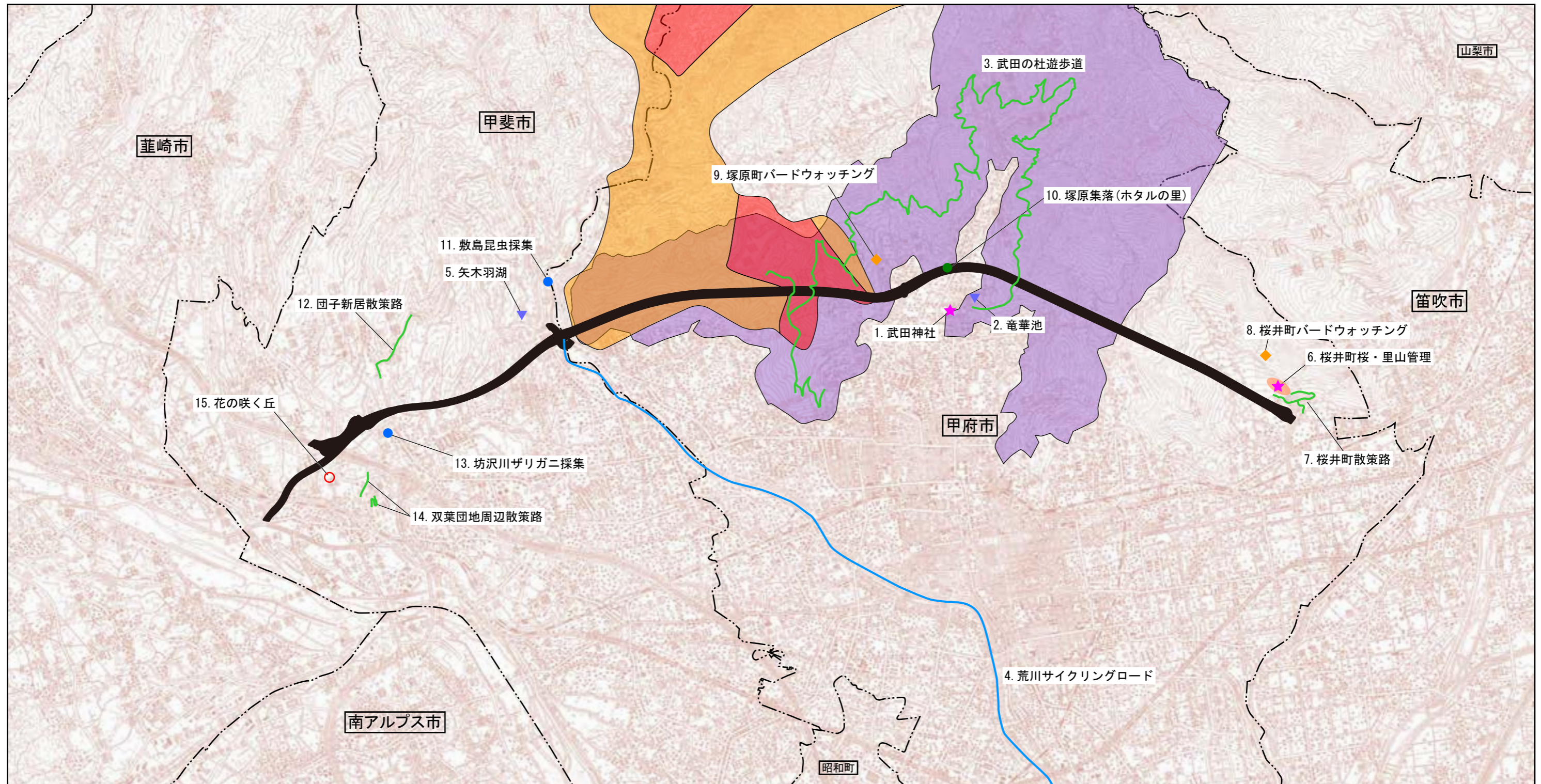
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点を表8-12-1及び図8-12-1に示す。

表8-12-1 主要な人と自然との触れ合いの活動の場調査地点

番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地
1	武田神社	約450m	甲府市
2	竜華池	約700m	甲府市
3	武田の杜遊歩道	約350m	甲府市
4	荒川サイクリングロード	交差	甲府市・甲斐市
5	矢木羽湖	約250m	甲斐市
6	桜井町桜・里山管理	約250m	甲府市桜井町
7	桜井町散策路	約100m	甲府市桜井町
8	桜井町バードウォッチング	約700m	甲府市桜井町
9	塚原町バードウォッチング	約400m	甲府市塚原町
10	塚原集落（ホテルの里）	約400m	甲府市塚原町
11	敷島昆虫採集	約550m	甲斐市敷島
12	団子新居散策路	約400m	甲斐市団子新居
13	坊沢川ザリガニ採集	約100m	甲斐市大塚
14	双葉団地周辺散策路	約200m	甲斐市双葉町
15	花の咲く丘	約150m	甲斐市岩森

注) 都市計画対象道路事業実施区域には秩父多摩国立公園及びやまなしの歴史文化公園が含まれているが、本件ではそのうち調査地域に含まれる活動の場を個別に取り上げて記述している。

注) 表中の「計画路線からの距離」は、計画路線の明かり部からの距離を示す。



凡例

記号	名称	記号	名称
[Red Box]	国立公園	★	花見
		◆	バードウォッチング
[Orange Box]	特別地域	—	サイクリングコース
[Purple Box]	普通地域	—	遊歩道・散策路等
[Red Circle]	やまなしの歴史文化公園	●	ホタルの里
[Red Circle]	自然環境施設	●	昆虫採集等
[Blue Triangle]	釣り		
[Orange Circle]	里山管理		

----- 市町界
 ————— 都市計画対象道路事業実施区域

1/50,000
 1,000 0 1,000 2,000m



出典：「山梨県自然環境保全図」平成17年 山梨県森林環境部みどり自然課
 「平成16年度版 やまなしの環境 2004」平成16年 山梨県森林環境部森林環境総務課
 「山梨の観光あんない」平成10年 社団法人山梨県観光連盟
 「山梨アウトドア」平成12年 山梨日日新聞社
 「山梨県温泉パンフレット〈温泉の山梨へ〉」平成15年 山梨県観光課
 各市町村の観光パンフレット

図8-12-1 人と自然との触れ合いの活動の場調査位置図

4) 調査期間等

現地調査は、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域に係る環境影響を予測し、評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間に実施した。調査時期は以下の表8-12-2に示すとおりである。

表8-12-2 調査時期

調査時期	調査の内容
平成18年 7月 3日	予備調査として調査地域全域を簡易踏査した。
平成18年10月27日	平日の利用状況調査として、利用者数調査及びアンケート調査を実施した。
平成18年11月 3日 平成18年11月19日	休日の利用状況調査として、利用者数調査及びアンケート調査を実施した。
平成19年 3月31日	春の行楽シーズンの状況を把握するため、現地踏査を実施した。
平成24年 4月15日 平成24年 5月 1日	触れ合いの場からの眺望の状況の確認のために補足調査を実施した。

5) 調査結果

(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

主要な触れ合いの活動の場の概況は表8-12-3に示すとおりである。

表8-12-3(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地	概況
1	武田神社	約450m	甲府市古府中町	武田神社は参拝や散策等、観光等で地元市民や観光客を中心に利用されている。また、境内にはお屋形さまの散歩道、御隠居曲輪南スポット公園なども存在し、広い敷地内を散策できる。
2	竜華池	約700m	甲府市古府中町	農業用のため池であるが、管理釣り場となっており、自然に近い条件で楽しむことのできる釣り場になっている。また、地域住民の散歩やバードウォッチングにも利用されている。
3	武田の杜遊歩道	約350m	甲府市岩窪町～ 甲府市山宮町	愛宕山～武田神社～積翠寺を経て湯村山遊歩道と連結し、湯村山～健康の森を結ぶ広域遊歩道である。
4	荒川サイクリングロード	交差	甲府市～甲斐市	荒川河川敷沿いを自転車で走行できるよう舗装されたサイクリングロードである。二川橋から金石橋に至る約12kmのコースである。

表8-12-3(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地	概況
5	矢木羽湖	約250m	甲斐市牛匂	農業用のため池であるが、湖周辺はウッドデッキやベンチが整備されており、湖を一周することができる。また、桜が湖周に植栽されている。
6	桜井町桜・里山管理	約250m	甲府市桜井町	3月に桜植栽木周辺で下刈りを行っている。また、4月には花見等で利用される。
7	桜井町散策路	約100m	甲府市桜井町	三島神社から始まり英和学院（大学）へ抜ける散策ルート。歩いて30分のコースである。
8	桜井町バードウォッチング	約700m	甲府市桜井町	桜井町北東の里山でバードウォッチングをしている。
9	塚原町バードウォッチング	約400m	甲府市塚原町	今年、祭りのイベントで巣箱を多数作成し、塚原町北側の里山に設置した。今後観察会等を開催している。
10	塚原集落（ホタルの里）	約400m	甲府市塚原町	ホタルを守る会によってホタルの放流・繁殖活動が行われている。
11	敷島昆虫採集	約550m	甲斐市敷島	荒川の中州にクヌギ・栗林があり、カブトムシが採れる。
12	団子新居散策路	約400m	甲斐市 団子新居	サントリー登美の丘ワイナリーへ続く散策路。雑木林を抜ける道である。
13	坊沢川ザリガニ採集	約100m	甲斐市大袋	坊沢川で時々子供が採集している。なお、現在工事が行われており、利用できない状況にある可能性が高い。
14	双葉団地周辺散策路	約200m	甲斐市双葉町	県営住宅双葉団地周辺の坊沢川沿いに残存する雑木林である。
15	花の咲く丘	約150m	甲斐市岩森	地区老人会の活動である。畑の跡地を利用している。

(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用状況、利用環境の状況

各調査地の分布、利用状況、利用環境の状況の調査結果について表8-12-4に示す。

表8-12-4(1) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
1	武田神社	分布	やまなしの歴史文化公園区域に存在し甲府駅の北約2.5kmに位置する。
		利用状況	現地調査結果によると平日に1,200人、休日に3,500人程度の利用がみられた。アンケート調査の結果では、春と秋に利用が多く、主な目的は参拝、観光、散策であった。また、武田神社は最寄りのJR甲府駅からバスで8分の距離にある。マイカーでは中央道甲府南ICから約30分、中央道甲府昭和ICから約20分程度の時間を要する。
		利用環境	境内の散歩道には落葉広葉樹の森が広がっている。
休日の様子			
			

表8-12-4(2) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
2	竜華池	分布	やまなしの歴史文化公園区域に存在する竜華池は、甲府駅の北約2.7km、武田神社より100mの距離に位置する。
		利用状況	有料の管理釣り場として、利用されているほか、現地調査の結果によると、散策や野鳥等の自然観察の利用が確認された。 最寄りのJR甲府駅からはバスで約8分、武田神社より徒歩1分である。
		利用環境	管理釣り場として駐車場が整備されているほか、土手には花が植えられ管理されている。
休日の様子			
平日の様子			

表8-12-4(3) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
3	武田の杜遊歩道	分布	秩父多摩甲斐国立公園及びやまなしの歴史文化公園区域に存在し、愛宕山～武田神社～積翠寺を経て湯村山遊歩道と連結し、湯村山～健康の森を結ぶ全長約17kmの広域遊歩道である。
		利用状況	現地調査の結果によると、平日に116人、休日に161人の利用がみられた。アンケート調査より利用者の主な目的は散策、ハイキング、自然観察等であった。また、平日・休日ともに利用は甲府市内の住民が多かったが、春先やGW、初日の出など日帰りの登山客らにも利用されている。地元の利用者が多いため、主な交通手段は徒歩か乗用車が多かった。
		利用環境	遊歩道は尾根のアカマツ林と斜面及び中腹部のコナラ林を通るコースとなっている。湯村側の白山頂上付近は花崗岩帯が露出して、白い土壌とアカマツが特徴的な景観を形成し、樹木が少ないため、甲府市内を一望できる箇所が連続している。
休日の様子			
	平日の様子		

表8-12-4(4) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
4	荒川サイクリングロード	分布	二川橋を起点に、金石橋に至るまで荒川沿いを巡ることができる全長約12kmのサイクリングコースである。
		利用状況	現地調査の結果によると、平日に80人、休日に170人程度の利用がみられ、利用者の主な目的は散策、ジョギング、サイクリング等であった。利用は地元の住民が多く、主な交通手段は、徒歩と自転車であった。
		利用環境	荒川の河川景観を楽しめるほか、アオサギ、キセキレイ、カワセミなど河川に特徴的な鳥類も観察することができる。サイクリングロードとして舗装整備されている。
休日の様子			
	平日の様子		

表8-12-4(5) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
5	矢木羽湖	分布	J R 竜王駅より北 (3.5km) に位置する公園である。
		利用状況	現地調査の結果によると平日に55人程度、休日に100人程度の利用がみられ、利用者の主な目的は散策、自然観察、写生、釣り等であった。 利用は甲府市、甲斐市の住民が多く、その多くは自家用車を用いている。主要な交通経路は以下のとおりである。 甲府駅からバス30分 牛向下車徒歩15分。 中央道甲府昭和 I C より国道20号を經由し、敷島方面へ約20分。
		利用環境	桜が湖周に植栽されている。
休日の様子			
	平日の様子		

表8-12-4(6) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
6	桜井町桜・里山管理	利用環境	<p>甲府市桜井町から横根町へ向かう道路の造成後に発生した法面に、桜を植栽している。下層植生管理のため、年1回の刈り取りを地域のイベントとして行っている。下層はススキ草地として維持されている。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
7	桜井町散策路	利用環境	<p>国道140号（西関東連絡道路）北側から西側の果樹園へ向かう散策路である。山側はクリ・コナラの雑木林があり、谷川はブドウやモモ、ウメなどの果樹園となっている。季節にそった果樹園の花や景観が楽しめる道である。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

表8-12-4(7) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
8	桜井町バードウォッチング	利用環境	甲府市桜井町から横根町へ向かう途中に存在する。 林内は伐採後から再生しつつある亜高木林で下層にアズマネザサが繁茂している。
			
9	塚原町バードウォッチング	利用環境	平成18年度に地区の夏祭りのイベントで小学生が巣箱を作成した。 現地調査では塚原町北西の秋葉神社周辺に設置しているのを確認した。設置位置はいずれも1.2m程度であり、子供が設置したものと考えられる。秋葉神社周辺はアカマツ林、コナラ林、竹林等がみられ、典型的な里山の植生構造となっている。
			

表8-12-4(8) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
10	塚原集落（ホタルの里）	利用環境	相川は両岸が護岸されているが、河床に堆積した土砂にヨシやキシユウスズメノヒエなどが繁茂している。これらの環境を利用してホタルが生息しているものと考えられる。
			
11	敷島昆虫採集	利用環境	荒川中州にクヌギ林が残存しており、カブトムシが採れる。地域ではひょうたん島と呼ばれ親しまれているが、川を渡って中州に入るため、利用は夏季に限られる。
			

表8-12-4(9) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
12	団子新居散策路	利用環境	新田ため池からサントリー登美の丘ワイナリーへ続く道である。周囲はクヌギやコナラの高木林となっている。
			
13	坊沢川ザリガニ採集	利用環境	ザリガニの採集等で利用されている。また、河川は両側が護岸されている。
			

表8-12-4(10) 調査結果

番号	調査地	調査項目	調査結果の概況
14	双葉団地周辺散策路	利用環境	<p>県営双葉団地から坊沢川の間に残る雑木林内を通過する道である。地域住民の散歩道や子供の昆虫採集に利用されている。雑木林はクヌギ・コナラを主体とする林となっている。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
15	花の咲く丘	利用環境	<p>地区の老人会が休耕している畑を利用して花を植えている。コスモス等が植栽されており、写真撮影に用いられている。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

12.1.2 予測の結果

1) 予測の手法

道路の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場の予測は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第398号」（平成19年6月 国土技術政策総合研究所）に基づいて行った。

(1) 予測の手順

道路の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場の予測は、以下に示す項目毎に行った。

a) 主要な触れ合いの活動の場及び自然資源の改変

主要な触れ合いの活動の場及びそれを取りまく自然資源と都市計画対象道路事業実施区域を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置、面積や延長等を把握した。

b) 利用性の変化

(a) 主要な触れ合いの活動の場の利用性の変化

主要な触れ合いの活動の場の利用の支障の有無、支障が生じる箇所等を把握するとともに、利用人数の変化について把握した。

(b) 主要な触れ合いの活動の場への到達時間・距離の変化

近傍の既存道路の改変の状況より、主要な触れ合いの活動の場への到達時間・距離の変化を把握した。

c) 快適性の変化

主要な触れ合いの活動の場から認識される近傍の風景の変化が生じる位置・程度を把握した。

2) 予測地域及び予測地点の選定

予測地域は、調査地域のうち、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取りまく自然資源の改変、または主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性、到達時間・距離、快適性のいずれかに変化が生じると想定される地域とし、人と自然との触れ合いの活動の内容を勘案し、計画路線からの距離が概ね500m程度の範囲とした。

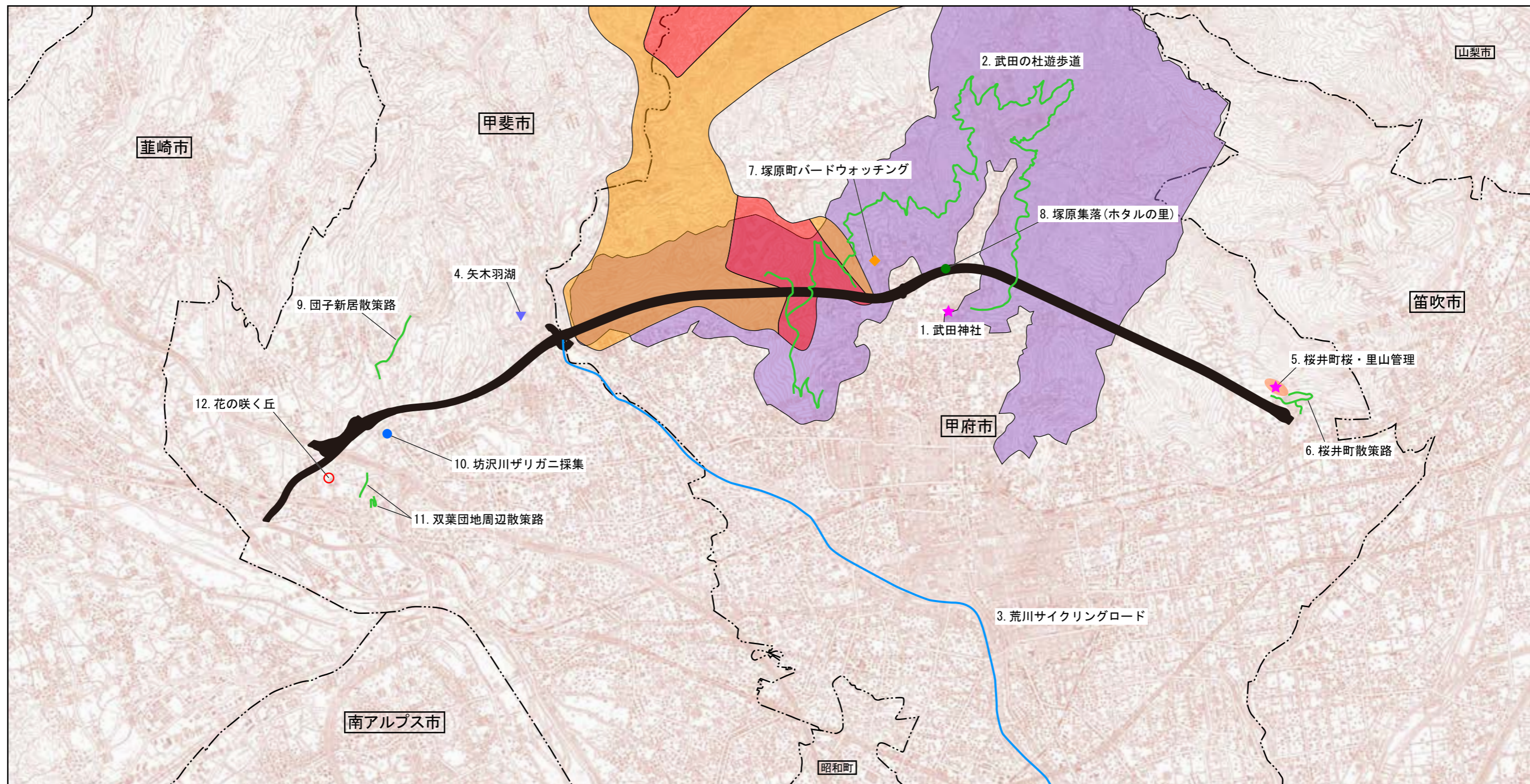
予測地点は表8-12-5及び図8-12-2に示すとおりである。

表8-12-5 主要な人と自然との触れ合いの活動の場予測地点

番号	予測地点	対象道路の 可視・不可視
1	武田神社	不可視
2	武田の杜遊歩道	不可視
3	荒川サイクリングロード	可視
4	矢木羽湖	可視
5	桜井町桜・里山管理	不可視
6	桜井町散策路	可視
7	塚原町バードウォッチング	不可視
8	塚原集落（ホタルの里）	不可視
9	団子新居散策路	不可視
10	坊沢川ザリガニ採集	不可視
11	双葉団地周辺散策路	不可視
12	花の咲く丘	不可視

3) 予測対象時期

予測対象時期は、都市計画対象道路事業の完成時において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用がある時期とした。



凡例

記号	名称	記号	名称
	国立公園	★	花見
		◆	バードウォッチング
	やまなしの歴史文化公園	—	サイクリングコース
	自然環境施設	—	遊歩道・散策路等
	釣り	●	ホタルの里
	里山管理	●	昆虫採集等

----- 市町界
 ————— 都市計画対象道路事業実施区域

1/50,000
 1,000 0 1,000 2,000m



図8-12-2 人と自然との触れ合いの活動の場予測位置図